

令和6年度 会計年度任用 職員の募集

2/29(木)
締切(必着)

問合せ先／総務課人事職員G (内線4541、4542)

市では、令和6年度の会計年度任用職員(月額・月額1/2勤務)を募集します。月額と月額1/2勤務では、勤務条件などが異なりますので確認の上、ご応募ください。

会計年度任用職員って？
会計年度任用職員とは、地方公務員法の改正に伴い、令和2年度から新たに設けられた非常勤職員の制度です。会計年度任用職員制度の導入により、それまでの市の嘱託職員および臨時職員などの非常勤職員は、会計年度任用職員へと移行しました。

勤務条件など
①会計年度任用職員(月額)
・主に月16日、8時30分～17時15分の勤務となります。
・健康保険(共済組合)、厚生年金、雇用保険の適用があります。
②会計年度任用職員(月額1/2勤務)
・主に月14日、9時～16時の勤務となります。
・健康保険(共済組合)、厚生年金、雇用保険の適用はありません。
※①、②とも、職種によっては条件が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。
※地方公務員法上の服務に関する規定が適用されます。

報酬月額
市ホームページ掲載の報酬月額は、新年度の見込額(参考)です。令和6年度の予算の状況などによっては変動する場合があります。条件を満たす場合、賞与の支給を予定しています。

休暇など
年次有給休暇などがあります。

任用期間
令和6年4月1日～令和7年3月31日
※再度任用されることがあります。

応募資格
採用時、本市に居住する方で、希望する職種の応募資格を満たす方
※複数職種への応募はできません。

提出書類
①履歴書(市販品可、顔写真貼付)
②資格を証明する書類の写し(資格取得見込の場合は、その旨を記載したもの)
※応募資格に資格要件がある場合のみ

選考方法
面接試験
※試験日などは、後日、応募者に通知します。(3月を予定)

応募方法
市ホームページ掲載の募集要項の応募先へ直接持参、または郵送
※ハローワーク川内に求人情報を提供しています。

※ 募集職種や勤務先、業務内容などの詳細については、市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページ

がん検診を受診しましょう

問合せ先／市民健康課(川内保健センター内) ☎(22)8811

早期発見には定期的な検診を
がんは誰でもかかる可能性のある病気で、**日本人の死因第1位**。2人に1人はがんになるといわれているほど身近な病気です。

そして**早期に発見して治療を開始すれば、約9割が治ると**いわれています。この「**早期がん**」を発見するために、**定期的ながん検診を受けることが重要**です。

本市では毎年、市民対象のがん検診を実施しています。全額自己負担で受診するのに比べ、少ない自己負担でがん検診を受診することができます。

集団検診も行います

主に保健センターや地区コミュニティセンターなどで行う集団検診は、土・日曜日にも実施を予定しています。また、胃がん・大腸がん検診時には、「腹部超音波検査」、子宮がん・乳がん検診時には「骨粗しょう症検診」、肺がん検診時には「喀痰細胞診検査」を合わせて受けることができます。(いずれも対象年齢と対象基準があります)

がん検診の現状
令和3年度、本市のがん検診によるがん発見者数は**47人**でした。

- 肺がん …… 13人
- 大腸がん …… 12人
- 胃がん …… 2人
- 乳がん …… 18人
- 子宮がん …… 2人

申込方法

がん検診の対象者には「令和6年度がん検診申込票」を1月下旬に送付しています。必要事項を明記の上、お申し込みください。
※転入者や追加申込希望の方はお電話での申し込みも可能です。
※料金については、下段の表でご確認ください。

申込期限／**2月29日(木)**

令和6年度実施予定のがん検診と個人負担額

検診名	対象者	個人負担額(予定)		検査方法	申込
		集団	病院		
胃がん	40歳以上男女	1,000円		バリウム検査	必要
大腸がん		600円		採便	
肺がん		500円		X線検査	
前立腺がん	50歳以上男性		1,000円	血液検査	不要
乳がん	40歳以上女性	40歳代：1,700円	1,800円	マンモグラフィ	必要
		50歳以上：1,000円			
子宮がん	20歳以上女性	1,000円	1,500円	頸部細胞診	

※次の方は、無料です。
●75歳以上の方 ●非課税・生活保護世帯に属する方
●1年生検診の方(子宮がん：20歳、胃・大腸・肺・乳がん：40歳、前立腺がん：50歳)

検査結果が「要精密」だった時は

結果が「要精密」であった場合には、精密検査を受けることで、より正確にがんでないかを確かめることができます。「要精密」と判定されても検査で見つからないこと(偽陰性)や、逆に「要精密」でないのにその疑いがある(疑陽性)という診断を受けることもあります。精密検査は、このようながんの疑いを除外し、正しく判断するために必要です。

検診結果が要精密の場合や自覚症状がある場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

がん検診詳細情報

検診日程や受診料金などは、決定次第、市ホームページに掲載予定です。

